



 **古河スカイ株式会社**

株主の皆様へ
2011年3月期上半期報告
2010年4月1日～2010年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様、日ごろは格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。2011年3月期上半期の当社グループ業績についてご報告をさせていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

この2010年度上半期においては、各種インセンティブ政策や好調な新興国経済を背景とした我が国経済の回復基調のなかで、当社が属するアルミニウム圧延業界も大半の分野において需要回復が大きく、圧延品需要全体では前年同期比で1割強の増加となりました。当社グループにおいては、昨年大きく落ち込んだ半導体・液晶製造装置向け等の厚板などが好調であったため、前年同期比で2割を超える売上の増加となりました。海外グループ会社においても、中国・アジア地区を始め世界的な需要回復のなかで、生産が大幅に上昇しました。

一方で、当社グループは、国内においては、日光工場を主体とする板圧延事業の構造改革を遅滞なく進めたほか、完全子会社化した日本製箔株式会社と連携の強化・効率化に努めてまいりました。

また、電池分野や電気自動車・ハイブリッドカーなど新し

い需要分野において、グループ一体での開発体制が進められるよう組織を見直すなど、強い事業基盤の確立と収益の拡大に向け、様々な改善施策の実行と今後伸びる事業分野に積極的に取り組んでおります。

海外においては、欧州最大のアルミニウム関連展示会である「ALUMINIUM2010」に日本の圧延会社として初めて出展し、また、4年連続で中国でのアルミニウム産業展示会にも参加するなど「古河スカイブランド」の認知度の向上を図っております。さらに、欧州地区アルミニウムマーケットの情報収集のために欧州事務所を開設、アジアではアルミニウム圧延品販売を主な目的として中国・上海に販売会社を設立、タイ・バンコクにも加工販売会社を設立するなどネットワークの拡充を行い、将来のグローバルプレーヤー化を見据えた施策を着実に実行しております。

この結果、当上半期においては前年同期比で大幅な増収増益を達成することができました。このような状況に鑑み、下半期においては未だ不透明な環境下にはありますが、中間配当は1株当たり3円とさせていただきます。

当社は、昨今の大きな環境変化も踏まえた2010～2012年3ケ年の新たな中期経営計画を策定し、この4月に発表いたしました。その中で、「アジアでNo.1の魅力あるカンパニー」を目指すことを中長期の経営ビジョンとして掲げ、収益力・財務体質・技術力・人材力をその指標として目標をそれぞれ設定し、その実現に向けてまい進し始めたところです。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2010年12月

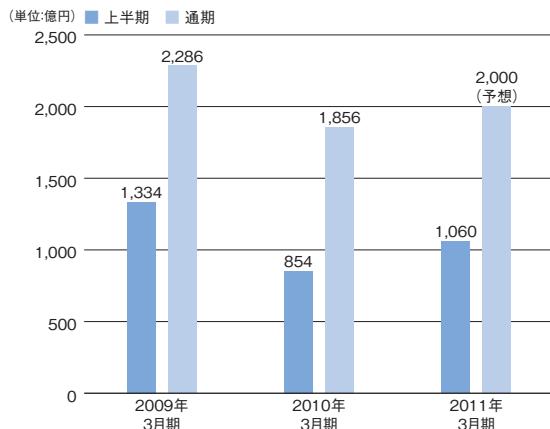
代表取締役社長

古河正昭



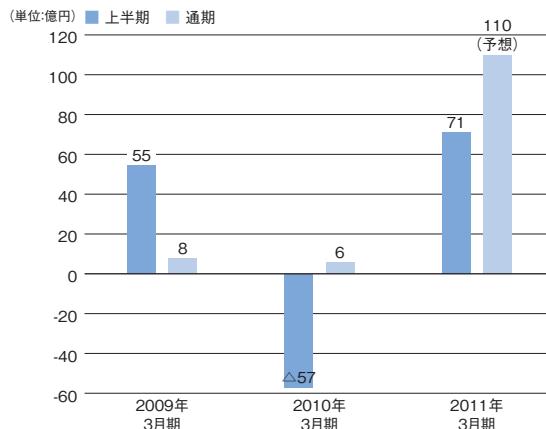
財務ハイライト(連結)

売上高 1,060億円 前年同期比24.1% 



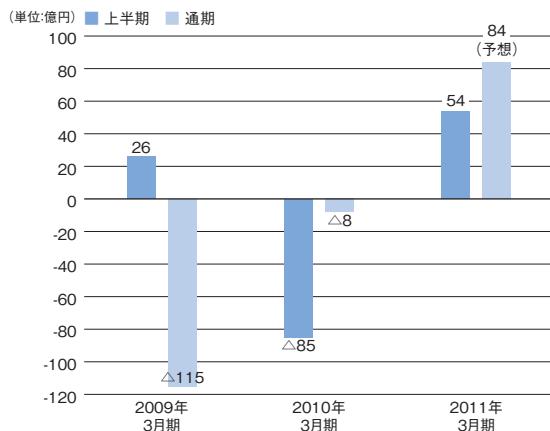
半導体・液晶製造装置向け等の厚板などが好調であったことから、売上数量が前年同期比で約2割増、その結果増収となりました。

営業利益 71億円 前年同期より129億円 



売上数量の回復に加え、地金ポジションの解消等により増益となりました。

四半期純利益 54億円 前年同期より139億円 



資産除去債務に関する会計基準の適用により、第1四半期に既存資産に関連する特別損失を710百万円計上しましたが、増益となりました。

配当について

当社は、株主の皆様に対する配当の実施を利益還元の重要な施策として考え、安定的かつ継続的な実施を基本方針としております。今期は業績の動向等から判断した結果、以下の通り実施させていただきます。

中間配当金 1株当たり3円

期末配当金(予想) 1株当たり3円

年間配当金(予想) 1株当たり6円

中期経営計画を発表

アジアNo.1の魅力あるカンパニーに

当社はこの4月、2010年から2012年3ヶ年の2012中期経営計画を発表しました。この中で、グローバルカンパニーとして、経営基盤、事業規模の更なる強化、拡大を図り、アジアNo.1の魅力あるカンパニーとなることを中長期経営ビジョンに掲げました。2012年度の数値目標として、売上高2,200億円、営業利益150億円、営業利益率6.8%、D/Eレシオ 0.8、売上数量(単体)447千トンを目指します。

世界最大規模の「ALUMINIUM2010」に初出展

“古河スカイブランド”を世界にアピール



9月14日～16日、ドイツ・エッセンで開催された世界最大規模のアルミニウム産業展示会「ALUMINIUM2010」に国内圧延会社として初めて出展しました。欧州のアルミニウムマーケットでは、自動車関連製品を中心に今後の成長が期待されるなか、当展示会で当社海外ネットワークや技術力、高性能製品群をPRしました。

グローバル成長市場への対応

海外拠点の拡大

当社グループは、成長する海外市場に対応するため、今年度新たに3つの海外拠点を開設しました。

9月、ドイツ・デュッセルドルフに開設した欧州事務所(Furukawa-Sky Aluminum Corp. European Office)では、欧州市場の情報収集強化を図るとともに、同市場での今後の事業展開について検討を進めていきます。

また、同月、中国・上海に販売会社の古河ス凱(上海)鋁材有限公司を設立、今後、中国市場を中心に国内外の当社グループ製品の拡販を目指します。

タイ・バンコク近郊に設立した圧延品加工・販売会社 Furukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltdでは、東南アジアおよびインド市場への供給基地として12月からの稼働を予定しています。

財務データ

■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 (2010年3月31日現在)	当第2四半期末 (2010年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	89,239	97,582
現金・預金	4,201	3,446
受取手形・売掛金	58,262	59,806
棚卸資産	20,975	22,782
その他	5,801	11,548
固定資産	110,938	106,196
有形固定資産	97,828	92,958
無形固定資産	2,409	2,071
投資その他の資産	10,701	11,166
資産合計	200,176	203,778
負債の部		
流動負債	85,699	86,159
支払手形・買掛金・未払金・未払費用	51,803	50,802
短期借入金・一年以内返済長期借入金・社債	32,800	33,471
その他	1,096	1,886
固定負債	54,861	53,757
長期借入金・社債	40,353	39,263
その他	14,508	14,494
負債合計	140,560	139,916
純資産の部		
株主資本	59,162	64,142
資本金	16,528	16,528
資本剰余金	35,184	35,184
利益剰余金	7,452	12,431
自己株式	△ 2	△ 2
評価・換算差額等	△ 31	△ 788
その他有価証券評価差額金	169	110
繰延ヘッジ損益	47	△ 336
為替換算調整勘定	△ 247	△ 562
少数株主持分	486	508
純資産合計	59,617	63,862
負債純資産合計	200,176	203,778

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	85,381	105,997
売上原価	82,960	90,455
売上総利益	2,422	15,541
販売費及び一般管理費	8,161	8,409
営業利益又は営業損失(△)	△ 5,739	7,132
営業外収益	266	463
営業外費用	961	829
経常利益又は経常損失(△)	△ 6,435	6,766
特別利益	66	58
特別損失	2,110	1,030
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	△ 8,478	5,794
法人税、住民税及び事業税	67	344
法人税等調整額	25	△ 37
少数株主損益調整前四半期純利益	-	5,487
少数株主利益又は損失(△)	△ 117	53
四半期純利益又は純損失(△)	△ 8,453	5,434

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,202	8,267
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,620	△ 3,143
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	482	△ 837
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△ 23
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89	4,264
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,465	4,111
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,554	8,375

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

ネットワーク 全工場でISO認証取得

全工場でISO9001認証を、さらに福井・小山・滋賀では、宇宙航空製品の品質、安全、耐空性の促進のための規格「AS9100認証」を取得し、総合的な品質管理を実現しています。

また、ISO14001認証も全工場取得しており、継続的な環境保全活動を推進しています。

1 PT.Furukawa Indal Aluminum

概要 自動車熱交換器用押出材 生産・販売
所在 インドネシア スラバヤ近郊 グレシク市
資本金 600万USDドル
(古河スカイ55%、Indal40%、豊田通商5%)

2 古河(天津)精密鋁業有限公司

概要 自動車熱交換器用押出材 生産・販売
所在 中国 天津市西青開発区
資本金 81,276千元
(古河スカイ100%)

3 Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.

概要 ターボチャージャー用
コンプレッサーホイール生産
所在 ベトナム ホーチミン市
資本金 600万USDドル
(古河スカイ100%)

4 AFSEL S.A.

概要 自動車熱交換器用板材の販売
所在 キリシア アテネ市
資本金 18万ユーロ
(古河スカイ50%、エルバルS.A.50%)

5 Bridgnorth Aluminium Ltd.

概要 印刷板・箔用材 生産・販売
所在 イギリス シュロプシャー州
資本金 29,333千ポンド
(エルバルS.A.75%、古河スカイ25%)

1 福井工場

概要 板製品の製造
主要生産品目 ・飲料用缶材(ボディー材、エンド材)、箔用材
・LNG船・航空機向け大型板材
所在 福井県坂井市

2 深谷工場

概要 板製品の製造
主要生産品目 ・印刷板、一般厚板
・自動車材、一般汎用材
所在 埼玉県深谷市

3 日光工場

概要 板製品の製造
主要生産品目 ・自動車熱交換器用材
・メモリーディスク材
所在 栃木県日光市

4 小山工場

概要 押出製品の製造
主要生産品目 ・自動車熱交換器用材
・感光ドラム材
所在 栃木県小山市

5 鋳鍛工場

概要 鋳物・鍛造製品の製造
主要生産品目 ・輸送分野向け鋳物製品
・電子分野向け鍛造製品
所在 栃木県小山市

6 古河スカイ滋賀

概要 押出製品の製造
主要生産品目 ・自動車熱交換器用材
・感光ドラム材
所在 滋賀県近江八幡市

7 日本製箔

a 野木工場
概要 箔製品の製造
主要生産品目 一般箔(工業用、食品用)
所在 栃木県野木町

b 滋賀工場
概要 箔製品の加工
主要生産品目 加工箔(薬品用、食品用)
コンデンサー箔
所在 滋賀県草津市

6a 乳源東陽光精箔有限公司

概 要 アルミニウム圧延品の製造・販売
所 在 中国 広東省韶關市
資 本 金 25千万元
(古河スカイ25%、三井物産20%、広東東陽光鋁業股份有限公司55%)

6b 韶關市陽之光鋁箔有限公司

概 要 アルミニウム圧延品の製造・販売
所 在 中国 広東省韶關市
資 本 金 49,650万元
(古河スカイ25%、三井物産20%、広東東陽光鋁業股份有限公司55%)

7 Furukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltd.

概 要 アルミニウム製品の加工・販売
所 在 タイ国 アユタヤ県
資 本 金 16千万バーツ
(古河スカイ100%)

8 Furukawa-Sky Aluminum Corp. European Office

概 要 欧州地区アルミニウムマーケットの情報収集・発信
所 在 ドイツ デュッセルドルフ

9 古河斯凱(上海)鋁材有限公司

概 要 アルミニウム圧延品の販売
所 在 中国 上海市
資 本 金 110万USDル

会社概要 (2010年9月30日現在)

社 名 古河スカイ株式会社

ホームページ <http://www.furukawa-sky.co.jp/>

事業内容 アルミニウムおよびアルミニウム合金の製造、
加工、販売

設 立 2003年10月

資 本 金 165億2,840万円

従 業 員 数 2,000名

役 員

代表取締役社長	吉 原 正 照
代表取締役専務	松 岡 建
専 務 取 締 役	鶴 堀 憲 二
常 務 取 締 役	西 辻 孝 三
常 務 取 締 役	楠 本 昭 彦
常 務 取 締 役	岡 田 満 彦
取 締 役	内 藤 秀 彦
取 締 役	長 南 邦 年
取 締 役	渡 辺 幸 博
取 締 役	長谷川 久 喜
取 締 役	中 野 隆 清
取 締 役	田 中 清 宏
常 勤 監 査 役	石 原 宣 宏
監 査 役	櫻 日 出 雄
監 査 役	菅 野 幹 宏
監 査 役	森 高 弘

株式の概況／株主メモ

株式の状況(2010年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 400,000,000株
 発行済株式総数…………… 227,100,000株
 (自己株式12,107株を含む)

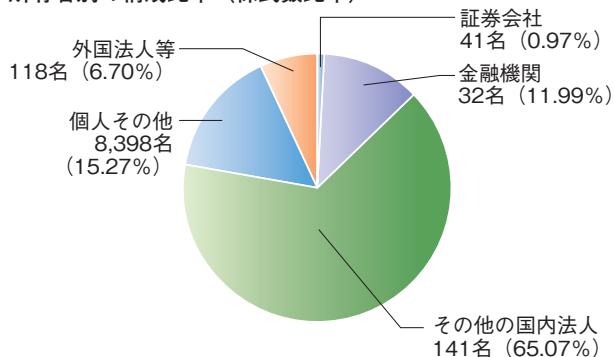
株主数…………… 8,730名

大株主

株主名	持株数	持株比率
古河電気工業株式会社	120,365 千株	53.00 %
新日本製鐵株式会社	18,700	8.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,327	4.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,230	3.62
古河スカイ従業員持株会	4,113	1.81
丸紅株式会社	2,271	1.00
三井物産株式会社	2,271	1.00
山内 正義	1,364	0.60
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,133	0.49
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	1,111	0.48

(注) 持株比率は自己株式(12,107株)を控除して計算しております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



古河スカイ株式会社

〒101-8970 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
 秋葉原UDX12階
 TEL (03)5295-3800(代表) FAX (03)5295-3760
<http://www.furukawa-sky.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (トラストラウンジを除く) みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

公告方法

電子公告 (<http://www.furukawa-sky.co.jp/>)
 (やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

○確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

「古河スカイIRニュース」配信のお知らせ



「古河スカイIRニュース」の配信を行っています。ご希望の方は、古河スカイホームページ トップページよりご登録ください。

